

# 治験業務に関する意見交換会（第21回）参加者募集

## テーマ：治験 with コロナ ～コロナ禍における経験の共有と今後に向けて～

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、医療や治験をとりまく環境は大きく変化しました。被験者の来院に依存しない治験(DCT)の実施、被験者宅への治験薬配送、Web会議システムを活用したIRB開催、被験者来院制限等による治験の一時中断そしてオンラインシステムを活用したリモートモニタリングなど、コロナ禍前とは異なった治験実施体制が検討されてきました。

また、医療機関においてはCOVID-19患者の受入れ体制整備や職員の出勤制限など診療面を含めた体制の見直しが余儀なくされました。感染拡大から約3年が経過した現在、治験実施体制として変化して良かった点や改善点および今後の課題について意見交換をする会を企画しました。

CRO協会の方々の協力を得て、治験におけるIRB申請やモニタリング業務などで治験実施医療機関(事務局担当者や治験薬管理担当者およびCRC)と関わることの多いモニターの方にも意見交換に参加いただき、医療機関側と治験依頼者側がコロナ禍で得た経験を共有し、withコロナでのNew Normalな治験実施体制について意見交換をおこないたいと考えています。

治験業務を始めたばかりの方から経験豊富な方までみなさん奮ってご参加ください。

参加を希望される方は、以下URLまたはQRコードからお申込みください。

[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=9710578846909564&EventCode=2037781460](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=9710578846909564&EventCode=2037781460)

申込期限は、2023年2月24日(金) 15:00です。

なお、募集人数に達しましたら、申込期限前でも募集を終了させていただきます。



◆開催日時：2023年3月11日(土)13時から17時30分

◆開催方法：Web会議システム(Zoom)によるWeb開催

◆主催：東京都病院薬剤師会(都病薬)

◆プログラム：

<講演>

「コロナ禍で変化した治験実施環境と今後の展望(仮題)(40分)」

CRO協会の代表者

「実施医療機関における治験環境の現状と課題について(仮題)(20分)」

臨床試験推進小委員会の代表者

<スモールグループグループディスカッション、ディスカッション結果発表(120分)>

<総合討論(60分)>

◆対象：治験業務に携わっている方(今後携わる予定の方を含む)

薬剤師のみならず、他職種の方およびSMO、製薬企業、CROにご所属の方も参加いただけます。

◆参加募集人数：50名

◆参加費：都病薬会員1,500円、非会員3,000円

◆意見交換会開始から終了まで参加された方には以下を交付いたします。(終了後に郵送いたします)

・修了証(出席者全員)

・東京都病院薬剤師会 生涯研修認定制度 2.25単位(都病薬会員のみ)

・日本病院薬剤師会研修単位シール 2.5単位(研修番号II-6<予定> 薬剤師の希望者のみ)

・日本臨床薬理学会認定CRC制度が認める研修会 5点(出席者全員)<予定>

・日本SMO協会 公認CRC・公認SMAの更新ポイント1点(公認CRC・公認SMAのみ)<予定>

<問い合わせ窓口>

担当：東京都病院薬剤師会事務局 山崎 メールアドレス:info@thpa.or.jp

対応時間：平日10:00～16:00

※演者や演題が予告なく変更になる場合がありますので、ご承知おきください。

※天候不良や災害等で研修会を中止する場合は、都病薬ホームページにてお知らせしますのでご確認ください。

主催：一般社団法人東京都病院薬剤師会